

小学校 第5学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「対馬産のいかについて知ろう」

2 題材設定の理由

いかは対馬で多く水揚げされており、家庭でも様々な料理に用いられ、身近な食材の一つである。そこで、学校給食で使用したいかを教材として、地場産物の良さやおいしさを知り、食べ物への興味・関心を高め、進んで食べようとする意欲をもたせるためにこの題材を設定した。

3 本時の目標

いかが対馬でたくさんとれることが分かり、いかを進んで食べようとする意欲をもつ。

4 食育の視点

食文化や食品の生産・流通・消費について理解を深める（食文化）

5 他教科との関連

社会科 「食料生産を支える人々」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資 料
食前	○今日の給食に対馬産のいかが使われていることを知る。	○今日のいか大根に使われているいかは、対馬産であることを知らせる。	いかの水揚げ写真 まいか(するめいか)の写真
食事中	○いかの身の部分や足の部分を味わって食べる。	○いか大根には身の部分と足の部分が使われており、食感がどう違うかよく味わって食べるように促す。	
食後	対馬産のいかについて知ろう ○いかを食べた感想を発表する。 ○地場産物の良さを知り、対馬の水産物を進んで食べようとする意欲をもつ。	○いかを食べた感想を発表させる。 ○地場産物の良いところを知らせる。 ・おいしい ・安い ・安全	

7 指導のつながり

・食育だより等を用い、対馬の水産物を紹介して家庭への啓発をはかる。